

タイ国の開発ニーズ

- バンコク都の公共路線バスを運営するバンコク大量輸送公社(BMTA社)が保有するディーゼルバスは経年車両が多く、燃費効率が悪い。
- CO2排出量も多く、大気汚染の一因となっている。

普及促進事業の内容

- タイの法規に適合させたHVバスを用いた試験運行を通じ、既存のディーゼルバス等との比較における、低燃費性、低いCO2排出量等、環境性能面での優位性を証明。
- BMTA社やタイ運輸省等に、HVバスの優位性への理解を促進。

提案企業の技術・製品



日野ディーゼル電気
ハイブリッド(HV)バス
1モータ平行式
ハイブリッド(HV)システム

事業のポイント
・環境配慮型バスの導入を志向しているBMTA社に対し、運行を通じてHVバスの環境性能への理解を促進し、導入を目指す。

タイ国側に期待される成果

- 低燃費HVバス導入により、BMTA社の車両運転コスト減に貢献。
- 既存ディーゼルバスからの代替を通じ、CO2排出量の大幅削減を目指すことで、環境負荷低減を実現。またタイ国が推進する省エネ政策にも貢献。

日本企業側に期待される成果

現状

- タイ国内では公共バスとして、HVバスは導入されていない。

今後

- HVバスをBMTA社に納入し、タイ国内での普及を図る。
- タイ国内でのHVバス量産実施により、現地雇用の維持、促進を図る。